

【事例 H24-06-32】 福井県池田町

こころの健康づくり事業

住民のこころの健康づくりを目的として、民生委員・児童委員を対象とした研修やケーブルテレビ・図書館・イベントでの普及啓発、相談業務の新設を行った。対面型の相談とともに、自殺ハイリスク者への訪問相談支援を行うことで、相談しやすい体制づくりに幅広く対応できた。

【実施主体】 福井県池田町

【大綱の分類】 社会的な取組で自殺を防ぐ

【事業予算】 平成 23 年度 970 千円

【利 点】

専門職への研修、普及啓発、相談業務といった多面的な取り組みがされた。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

池田町における自殺者数は平成 21 年まで長年 0 人であったが、22 年 9 月に 2 人の自殺者があり、突然県下（60.61）の自殺死亡率となってしまった。自殺された 2 人はどこにも相談されることなく亡くなっていること等を踏まえ、心の病気、心の健康に対する理解度の低さ、家族の悩みの相談の受け皿を考え克服するための研修・相談等の充実を図り、住民のこころの健康づくりを目的とした。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ①こころの健康づくり研修会：町が企画し池田町民生委員児童委員協議会・保健推進委員会の協力のもと実施
- ②相談事業：メンタルカウンセラーを事業委託し実施
- ③普及啓発：ケーブルテレビの町のお知らせ枠で放送；チラシを全戸配布；イベント時（ほっと元気まつり）にチラシ配布；図書館でコーナーを設置し、こころの健康に関する図書を配置

【具体的な内容・実施の過程】

- ①平成 23 年 3 月「こころの健康づくり研修会」を開催

対象者：民生委員・児童委員 51 人、福井県の自殺の現状、相談対応の仕方、心の病気について研修

- ②メンタルカウンセラーによる「こころとからだの健康相談」

平成 23 年 4 月から毎月第 2・4 金曜日実施（事前予約による面接相談を基本）

予約がない日は訪問型相談支援を行う。訪問対象者は、ストレスチェックや各方面からの情報提供、過去の相談履歴により自殺ハイリスク者をリストアップし、町の保健師とカウンセ

ラーが同行訪問し、相談事業を行った。強化月間時には町内事業所を訪問し、相談事業の普及啓発を行った。

③普及啓発として、ケーブルテレビ等で相談窓口の紹介、チラシ配布、図書館に心の書籍を配置した。

【成 果】

対面型の相談とともに、自殺ハイリスク者への訪問相談支援を行うことで相談しやすい体制づくりに幅広く対応できた。事業を強化したことにより、平成23年度自殺者は現在のところ0人となっている。

【補 足】

今回の事業においては、自殺者が発生してから取組を強化したため、自殺対策と直接的な言葉は避け、「こころとからだの健康づくり」と位置付け、相談窓口の周知と事業の理解に努めた。

【課 題】

【事業種別】 対面型相談事業

【準備期間・人数】 準備期間 約6か月・人数 2人

【予防段階】 1次予防

【自治体規模】 3,000人

【自治体負担率】

【事業対象】 住民

【支援対象】 住民

【実施主体・問合せ先】 福井県今立郡池田町保健福祉課

TEL:0778-44-8000

URL : <https://www.town.ikeda.fukui.jp/>

【参考資料・文献】